



～長峰保育所～

議会だより や め

No.154 平成28年11月1日

- P 2 **予算は適正に使われたか** ～27年度決算～
- P 8 **ここが聞きたい!** 一般質問 **13人** の議員が登壇
- P 16 **議員定数はどうあるべきか** ～調査報告～
- P 17 **11月に議会報告会を開催します**

正に使われたか

一般会計 決算認定

歳入
394億3946万円

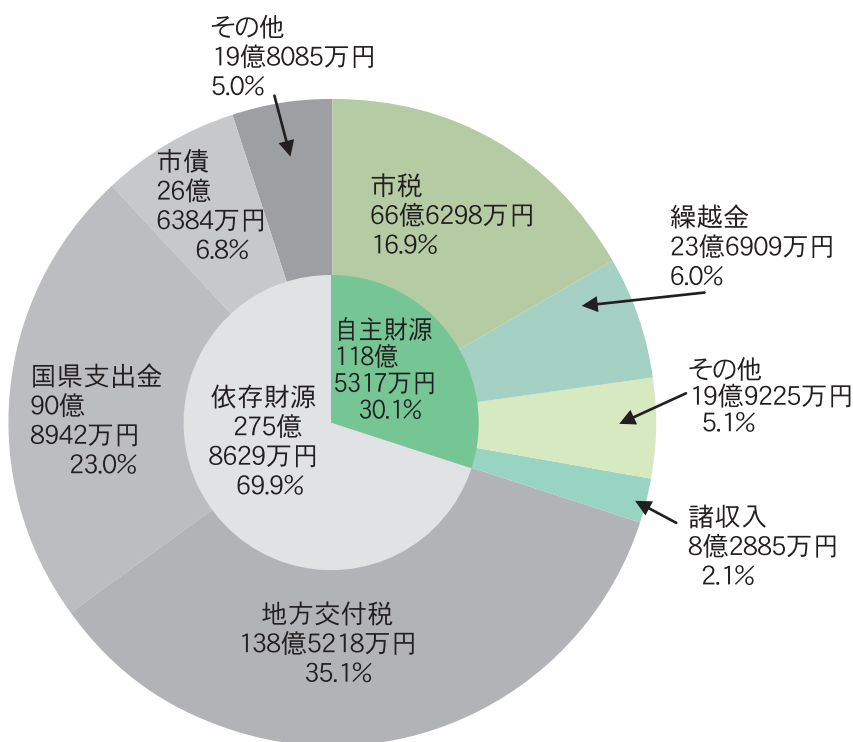
9月定例会

9月定例会を8月31日から9月21日まで22日間の会期で開催しました。市長より提案された議案は、4億3982万円を追加する一般会計補正予算、条例改正案など議案10件と平成27年度決算認定（一般会計、特別会計、水道事業会計）が提案され、いずれも原案どおり可決・認定しました。

一般質問は、13人の議員が登壇し、市政全般にわたり質問しました。

平成27年度の各会計の決算について、決算審査特別委員会を設置し、各担当課からの説明を受けて詳細に審査を実施しました。

その結果、適正に予算が執行されていることを確認し、委員会意見を付し認定しました。



決算の概要

平成27年度の一般会計決算額は、歳入総額が394億3946万円（前年度比23億7170万円減）で、歳出総額は372億5794万円（同20億8413万円減）です。差引額は21億8152万円になりそのうち翌年度へ繰り越すべき財源1億2175万円を差し引いた実質収支は20億5977万円です。

歳入

自主財源の柱となる市税が歳入全体の16・9%にあたる66億6298万円（前年度より8396万円の減少となっています）。国・県支出金の減少（1・2%）の減収となつています。依存財源である地方交付税が歳入全体の35・1%にあたる138億5218万円（前年度より755万円の減少となっています）が主な要因です。

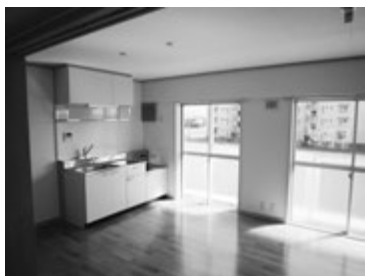
市の予算は適

平成27年度の主な事業

○雇用促進住宅改修事業

2億6683万円

蒲原住宅北棟の改修工事を行い、老朽住宅の住替え、及び新婚・子育て世帯の住居が確保できた。



○大淵地区地域間交流施設整備事業

2億2805万円

スポーツ合宿や自然を生かした体験学習などの機能を有する簡易宿泊型の交流施設として、元大淵小学校を改修し大淵体験交流施設「げんき館おおぶち」を整備した。



○矢部地区観光物産交流施設整備事業

2億554万円

矢部地区の国道442号沿いに、東の玄関口のおもてなしの場として、特産物販売・飲食スペース・観光案内の機能を有する交流施設として、観光物産交流施設「杣のさと」を整備した。



○子育て応援券交付事業

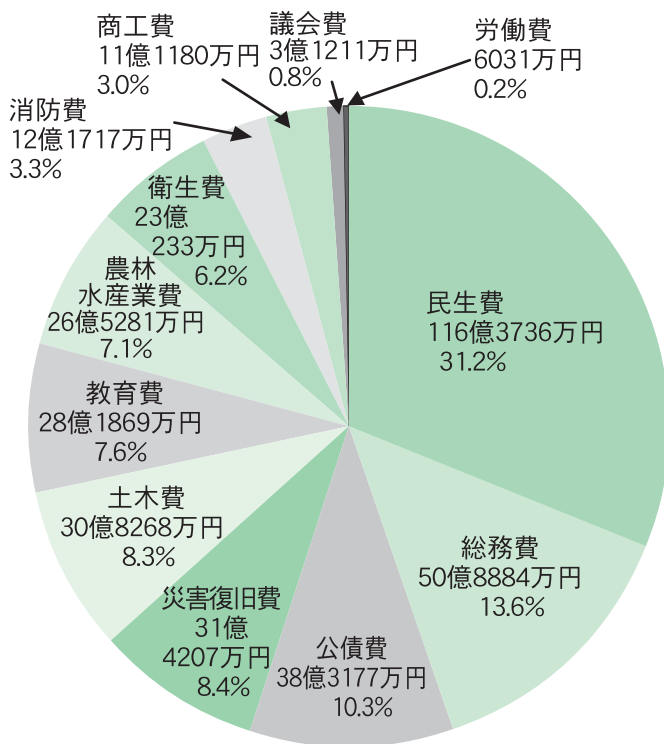
8195万円

中学生までの子供を持つ保護者に対し、商工会議所、商工会が実施するプレミアム商品券をこども一人につき1万円分交付し、子育て世帯の負担軽減を図った。

平成27年度

歳出

372億5794万円



歳出の31.2%を占める民生費は、臨時福祉給付金、生活保護費が減少したものの、国民健康保険事業費特別会計繰出金が増加したため、前年度より6641万円（0.6%）増加しました。総務費は、ふるさと支援寄附基金積立金が増加したものの、公共施設整備基金、財政調整基金、減債基金への積み立てが減少したため、前年度より12億5452万円（19.8%）減少しました。災害復旧費の減少は、九州北部豪雨災害による復旧事業費が減少したことが主な要因です。

歳出

議会から市へ提言

～決算審査特別委員会～

認定第1号

平成27年度八女市各会計歳入歳出決算認定について

決算を認定するにあたり、指摘・要望等を市に提言しました。

一般会計

① 健康寿命の延伸を目指す「スポーツ・健康づくり都市宣言」を機に、

市民一人ひとりが健康的に健康診査を受ける環境づくりを構築していただきたい。特に、特定健診並びにがん検診等の受診率目標を達成するための、他自治体好事例やアイデアを盛り込んだアクションプランを策定し、その具体策を実行されるよう強く指摘する。

② 下水道整備区域と浄化槽設置区域の住民負担の不公平感を解消する為

に、浄化槽設置整備事業費補助金の増額を再度検討いただくことを強く指摘する。

住宅新築資金等貸付事業費特別会計

① 住宅新築資金等貸付

事業については、法的措置も含め収納率の向上に向けた対策を強化されるとともに、近隣市町との連携を図り国に対して解決の方策をとられるよう働きかけることを重ねて要望する。

よう指摘する。

国民健康保険事業費特別会計

① 国保会計について

は、更に厳しい状況に置かれている。他部局との連携を強化し保険料収納率向上に向けた対策をはじめ、国保会計安定化のための措置を講じられたい。また、医師会との連携をさらに強化し、各種の健康診査の受診拡大並びにジェネリック医薬品の利用拡大に向け市民への啓発を浸透させ、医療費削減に繋げていただくよう指摘する。

介護保険事業費特別会計

① 要介護認定者が増加

する中、介護予防の観点から、高齢者が地域で自立して生活ができるよう介護保険認定者以外において、高齢者世帯には、一定のルールを決めたくて高い確率で効果が期待できる住宅改修費補助事業を導入することを強く指摘する。

決算審査特別委員会とは？

前年度の予算が議会の議決の趣旨に沿って適正に執行され、かつ行政効果及び住民サービス・住民福祉の向上にどのように役立ったかなど、目的の達成度を審査する特別委員会です。

この特別委員会は、議長及び議会選出監査委員を除く議員（24名）で構成され、分科会（各常任委員会）ごとに審査を行います。

一般会計補正予算

議案審議

4億3982万7千円を追加
歳入歳出予算総額365億5954万8千円

安全・安心な学童保育所の新築を期待

岡山小学校区・上陽
北内小学校区学童保
育所新築工事実施設
計業務委託料について
814万3千円

問 学童保育所を設置するにあたり、支援の単位は4名と決まっているのか。
答 国の基準にならない、40名が支援の単位として必要としている。

子育て支援課では、学校教育課と連携を図り、各学校の空き教室の情報を提供してもらっている。今後、プレハブで運営を行っているところを計画的に建物の新築する予定で受け入れ体制を整えていきたいと考えている。

問 岡山小学校区学童保育所504万9千円、上陽北内学園小学校区学童保育所309万4千円、約200万円の差があるがどのようなことか。
答 岡山小学校区学童保育所は児童数の伸びにより、3つの支援単位の運営を考えている。定員規模としては120名程度の規模の建物を予定している。上陽北内学園小学校区学童保育所については、現在の利用者は30名弱である。40名1支援単位の建物を予定しており、建物の大きさによる金額の違いがある。

問 一学童保育所に対して支援員の数は決まっているのか。
答 特に取り決めはないが、2人以上いてもがいる場合は、万が一の事故等に備えて必ず2人は配置をしようとしている。

問 小学校空き教室利用は10か所となっている。空き教室から別棟にする等の検討委員会は設けているのか。
答 検討委員会は設けていない。国からの指導では、少子化に伴い、使える教室があればなるべく利用するようにという指示がある。



現在プレハブの岡山小学校区学童保育所

人事案件

人権擁護委員

次の方を推薦することに同意しました。

- 平島 豊彦 (再任)
- 古川 正二 (再任)
- 秀徳 正吾 (再任)
- 江崎 智香子 (再任)
- 森松 留美 (再任)
- 酒井 龍彦 (新任)
- 佐藤 邦子 (新任)

人権擁護委員とは

法務大臣から委嘱された民間の人たちです。この制度は、地域住民の中から人格見識の優れた人たちを選び、その協力を得て、日常生活の中で人権尊重思想の普及高揚を図るとともに、人権侵害による被害者を救済し、人権を擁護していくこと等を主眼から設けられたものです。

委員会審査

厚生

審査の主なもの

- 平成28年度一般会計補正予算(第3号) (全員賛成で可決)
 - ・社会福祉費 2743万9千円
 - ・児童福祉費 5265万2千円
 - ・生活保護費 9万9千円
 - ・保健衛生費 469万8千円
 - ・清掃費 52万7千円
- 平成27年度各会計歳入歳出決算認定 (賛成多数で認定)

総務文教

審査の主なもの

- 平成28年度一般会計補正予算(第3号) (賛成多数で可決)
 - ・文化財保護費 51万9千円
 - ・市立中学校給食調理等業務委託料 (債務負担行為補正 限度額 2646万円)
- 平成27年度各会計歳入歳出決算認定 (賛成多数で認定)

市立中学校給食調理業務委託

来年4月から、給食調理業務を民間に委託するもの

問 民間委託と直営での違いはあるのか。予算面で、どれくらい経費を効率化できるのか。

答 調理業務を委託するというところで、献立の作成や食材の発注・購入等は従前どおり教育委員会で行う。委託する内容は、食材を使つての調理業務と食器

及ぶ食缶等の洗浄業務である。経費の面では、人件費等の運営経費の効率化が図られると認識している。試算では、3校全部で、人件費を含めて400万円から500万円の経費節減を予定している。

B型肝炎ワクチン接種始まる

10月から定期接種に

問 対象が平成28年4月以降出生のため、0歳児で対象外となる乳児が発生する。市単独の補助は。

答 国が定める4月1日以降の出生乳児を対象に予算化。市の単独措置は考えていない。

問 地域密着型施設等整備補助金の内容は。

答 スプリングラー整備と介護ロボットの導入に対する補助である。

問 地域密着型施設等整備補助金の内容は。

答 小規模多機能型居宅介護施設及び定期巡回・随時対応型訪問介護看護施設の各1施設に対する補助である。

問 2学童保育所の実施設計に着手

問 岡山の実施設設計の具体的内容は。

答 現施設と学校体育館の間に、2階建、3クラス構成を考えている。

問 利用児童は増加傾向にある。考慮されたか。

答 現施設の定員79名に90名利用。建設予定の施設は、120名まで受入れ可能である。

問 今後の事業計画は。

答 岡山と上陽北泊は来年度建築予定で、残る上妻は平成30年度に予定している。



学校給食調理室



議会の動き

8月

- 3日 全員協議会
商工団体との意見交換会
- 9日 議員定数等調査特別委員会視察
研修～10日
- 22日 行政区長会との意見交換会
- 24日 男女が輝くネットワーク八女との意見
交換会
建設経済常任委員会
- 26日 議会運営委員会
- 31日 平成28年第4回定例会(招集日)
全員協議会

9月

- 5日 本会議(一般質問)～8日
- 8日 予算審査・決算審査特別委員会全体会
委員会・分科会～13日
- 16日 予算審査・決算審査特別委員会全体会
- 21日 平成28年第4回定例会(最終日)
- 29日 厚生常任委員会視察研修(久山町)

10月

- 4日 公立八女総合病院企業団議会
- 6日 議員定数等調査特別委員会
総務文教常任委員会
- 7日 八女中部衛生施設事務組合議会
議会だより編集委員会
- 13日 議会だより編集委員会
- 14日 福岡県南議長会
- 17日 総務文教委員会視察研修～19日
- 18日 福岡県市議会議長会(うきは市)
- 26日 八女地区消防組合議会
厚生常任委員会視察研修～28日

建設経済

審査の主なもの

- 平成28年度一般会計補正予算(第3号) (全員賛成で可決)
 - ・道路新設改良費 1億円
 - ・河川改良費 3000万円
- 平成27年度八女市各会計歳入歳出決算認定 (全員賛成で認定)
- 平成27年度八女市水道事業会計歳入歳出決算認定 (全員賛成で認定)

道路河川愛護活動の報償金要綱

問 中山間地域は、非常に長い距離を実施しているが、今後の対応は。

答 平成27年度は、各地区の状況を把握するため、上限5万円の報償金要綱を設け、道路愛護の活性化をお願いした。

19行政区のうち、1行政区。64%程度の実施率であった。28年度は、より以上の交付金を使用されるような体制づくりを計画している。

問 河川改良工事費について、場所と内容は。

答 稲富から立野に流れる「十三歩川」と、宅間田の中を流れる「筒川」で玉石積み護岸の改良工事である。

問 多面的機能支払県交付金返還金について。

答 本年度の取り組みは、旧八女が21、立花、黒木、星野があり、計40組織ある。農地維持、長寿命化、共同取り組みの3種事業があり、返還は24組織ある。



道路愛護の様子



一般質問

月 日	質問者	質問事項
9月5日 (月)	高橋 信 広	1 健康寿命の延伸について－予防・早期発見－
		2 ふるさと納税制度について
	堤 康 幸	1 農業振興について
	松崎 辰 義	1 子どもの貧困対策について
	伊井 渡	1 市職員の給与、人件費について
2 「格差を無くす会」の要望書について		
9月6日 (火)	牛島 孝 之	1 行政区の現在数、今後再編についての八女市の考えは
		2 八女市の情報公開について
		3 教育問題について
	田中 栄 一	1 山村振興法に基づく事業の取組について
		2 福岡県地下水概況調査の結果を受けて
	小川 栄 一	1 地域包括ケアシステムについて
橋本 正 敏	1 ふるさと支援寄附金（ふるさと納税）について	
9月7日 (水)	森 茂 生	1 個人情報保護について
		2 TPPについて
	栗原 吉 平	1 農業政策について
	樋口 安 癸次	1 道路改良について
2 トンネルについて		
3 グラウンド整備について		
9月8日 (木)	石橋 義 博	1 伝建地区対策
		2 ふるさと支援寄附金対策
	三角 真 弓	1 今後の八女市のまちづくりについて



一 般 質 問 と は

市の政治、行政全般にわたり、市長の方針、見解、事実の説明、報告を求めるものです。

議員は、質問により、政治、行政などに対し、自己の意見を表明することができます。

議会だよりの一般質問原稿も自ら作成していますが、字数制限があるため、すべての質問答弁を掲載することができません。

ここに掲載出来ない質問答弁は、八女市ホームページ等で御覧になることができます。



高 橋 信 広

健康寿命の延伸について

問 スポーツ・健康づくり都市宣言の発信に伴い、予防・早期発見に関する基本的な考え方は。

答 市民一人ひとりが健康に対して意識を高め、積極的にスポーツに親しみ健康寿命の延伸を目指していく。

問 ピロリ菌検査の導入について数年議論しているが、取り入れられないのはどうしてか。

答 ピロリ菌検査が、胃がんの死亡率減少効果を示す明確な証拠がなく、対策型検診として推奨されていなかったため、现阶段では難しい。

ふるさと納税制度について

問 人的配置を含めお礼の品、販促物は、この一

電力のコスト低減を財源として、特定健診・がん検診の無償化は

答

電力については検討するが、検診の無償化は考えていない

年でどう変えてきたのか。

答 主担当職員は一名、係全員でフォローする体制であるが、多忙な時期は臨時職員を配置する計画である。お礼の品は、高額の寄付金に対する品物も準備し、37点から現在は66点の品揃えとした。また、販促物は、新しいパンフレットの作成に取りかかっている。

問 申込み件数を増やすための具体策は。

答 東京など福岡県人会へ、パンフレットの送付を予定、また、東京23区へ配達の新間に、有料の広告を載せる予定である。市民の方には、11月の広報紙で、八女市外在住の友人、知人にPRできる内容を掲載する予定である。

《健康診査自己負担金の近隣自治体比較表》

【単位：円】

項目	検査方法	八女市	筑後市	柳川市	大川市	みやま市
特定健診		500	500	500	500	1,000
胃がん	レントゲン	1,000	500	500	500	500
肺がん	レントゲン	無料	無料	無料	500注1	無料
大腸がん	便腺検査	500	500	500	500	500
前立腺がん	血液検査	1,000	500	500	500	500
乳がん	マンモグラフィ+視触診	1,300	500	500注2	500	500注2
子宮頸がん	細胞検査	1,000	500	500	500	500

※集団検診での有料対象者の自己負担金です

注1:65才以上は無料 注2:マンモグラフィのみ

ナシ赤星病に対する今後の撲滅対策は



堤 康 幸

答 生産者及び関係機関と緊密に連携をとり、全力で取り組む

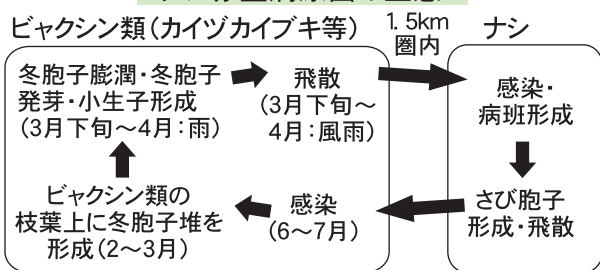
問 この病害は、中間宿主となるビャクシン類が存在しなければ発生しない。庭木や生垣として植栽してあるビャクシン類の排除には関係者の理解と協力が必須となるが、周知徹底をはかる方法は、

答 赤星病対策検討委員会作製の啓発チラシを、梨栽培地の行政区へ隣組回覧として、区長会の協力を得て配布している。

問 撲滅対策への地域の方々の理解度は、

答 平成25年3月に、所有者の理解を頂き、伐採を実施した実績がある。今後、伐採など対策の円滑な推進には、植栽状況の把握が必要であり、調査を進めていく。梨栽培の

ナシ赤星病原菌の生態



厳しい状況を伝え、啓発を重ねていくことが肝心と認識している。

問 住宅新築時にビャクシン類の植え付けが見受けられる。建築確認申請に際し、建築主へ植栽自粛を依頼し、新植防止の効果を上げていく自治体もあるが、実施できないか。

答 市民の皆様が、農業は市の基幹産業である事を理解して頂く取組みが必要。植栽自粛依頼は、関係各課と十分検討し、できるところから開始していく。



松 崎 辰 義

問 子育て世帯臨時特別給付金が今年からなくなった。貧困対策の立場からどう考えていくのか。

答 小中学校の入学祝い金、出生児童に対する祝い金、通学定期の助成等、子育てに力を入れており、市独自の手だてを引き続きやる必要があると思う。

問 今回の子どもの貧困対策推進法は、繰り返し見直す必要があるのでは。

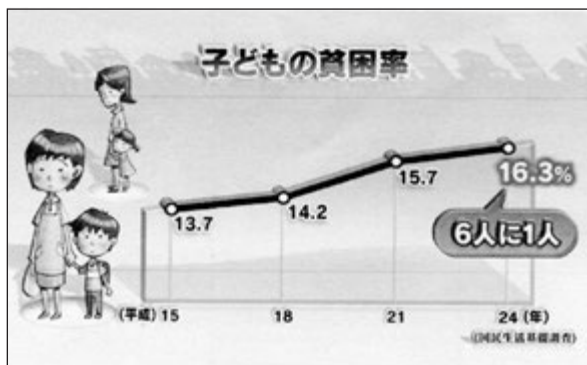
答 当然、毎年見直しを行っていく。

問 就学援助に入学準備金があるが、いつ支給されるのか。

答 支給は6月である。

問 文科省から「平成27年度要保護標準要保護児童生徒援助費補助金の事務処理について(通知)」というのが来ていると思うがどういうものか。

答 児童生徒が援助を必要とする時期に速やかに支給することが出来るように十分配慮すること、特



答

もちろんである

子どもの貧困対策の基本的考え方は、法の目的に従って進められるのか

問 実際には3月に必要で、福岡市は昨年からは、福岡市は今年から行っている。どのように考えるのか。

答 今後、調査研究する。

市正規職員の平均年収約630万円 年間人件費約865万円は高過ぎ では

答 国の人事院勧告にならっている



伊井 渡

問 「格差をなくす会」の方々が、市長は市正規職員の給与、人件費について、人事院勧告を尊重し、議会の同意を得ていると言われているが、我々市民としては全く納得できない。やはり法的にも民意からしても、市内給与所得者水準が適正である。それで早急に市正規職員の給与などを市内給与所得者水準に適正化し、その財源で固定資産税など市税の大幅な引き下げ、償却資産税の廃止を行い、苦しい生活に陥っている市民の負担軽減を図って頂きたい、という要望書

答 人事院勧告を尊重し、議会の同意を得ていると回答した。

問 そのような回答では、賛同署名された方々は納得されないと思うし、無視できない大きな数字であるので、市政に反映すべきと思うが。

答 納得していただけるよう説明を丹念にやっています。



牛島 孝之

問 八女市では国旗についてどのようなところで掲揚すべきか、取り決めているのか。

答 国旗掲揚に関する要綱等について特に定めていない。

問 旧八女市、旧黒木町の八女市の考えは

答 旧八女市、旧黒木町について、行政区の統廃合に対する八女市の考えは。

答 市民生活に大きな影響をおよぼすものであり、行政区の声をしっかりと聞き、地理的条件や歴史的経過なども考慮しながら慎重に進めていきたい。

答 八女市では、文部科学省の通知以前から指導している

国旗・国歌法について八女市の考え方や国旗の掲揚について取り決めは

【国旗及び国歌に関する法律】
(平成11年8月13日法律第127号)

(国旗)
第一条 国旗は、日章旗とする。
2 日章旗の制式は、別記第一のとおりとする。

(国歌)
第二条 国歌は、君が代とする。
2 君が代の歌詞及び楽曲は、別記第二のとおりとする。

八女市の情報公開について

問 今後の附属機関等会議の開催状況の情報公開

答 前月末締めで翌月分を公開することになっているが、なかなか網羅できていない状態はなので取り

問 ホームページに掲載

答 総務課の担当であるが各課から更新できるように検討している。

山村振興法の指定区域に対する計画を早期に策定し事業に取組め



田 中 栄 一



山村を守れ

答 総合計画等と整合を図り、区域の事業を考慮し検討する

問 旧町村の計画を山村振興に反映すべきでは。

答 黒木町と星野村が計画を策定、事務事業のすり合わせは行われた。

問 平成37年までの期限の中で、スタンス、スケジュールは。

答 総合計画策定時に山村の振興策も議論した。地域の要望は他の有利な事業で実施している。過去の経過を踏まえ、メリットなども検討し計画を策定していく。

問 山村に対する姿勢として市長の意識が非常に大事ではないか。

答 一段と厳しくなる山村地域の環境改善に向け

今後とも努力していく。

問 福岡県地下水概況調査の結果を受けて

答 基準値以上のヒ素を検出。関係住民への配慮と緊急対応、将来対策は。

問 関係者には速やかに結果報告し安全対策の指導を行い、周辺住民へも区長と協議のうえ経過と対策を周知している。

問 個人の水质検査への補助はできないか。

答 浄水器設置が補助要件である。

問 豊岡地区への上水道配水は。

答 小石原川ダムの供用開始が平成32年であり、それ以後となる。



小 川 栄 一

問 相談支援の内容は。

答 最も多いのが介護保険に関すること。続いて権利擁護、医療、健康、また虐待の相談が増加。

問 地域ケア会議活用は。

答 小地域ケア会議を13回、日常生活圏域ケア会議を16回、地域包括ケア推進支援会議を1回開催。

問 各地域のケア会議の中心となる役割は。

答 地域包括センターが主催し、なおかつ支所の行政機能を持った課長も一緒に責任を持つていくべきことをしている。

4月にスタートした地域包括ケアシステムの半年間の進捗状況は

答

相談業務の対応は7月までに約460件、内時間外10件



問 主導権はどこに。

答 最終的に責任は行政にある。市として地域ケア会議を発展させていく。

問 センターと支所が中心にやっていくのなら、モデルを作り、スピード感を持ってやれないか。

答 それぞれ地域の実情があるので、システムはつくった、だからみんなや

りましょうというところを大事にしていかないと本来の地域包括ケアシステムにならないのではと考えている。そして社会福祉協議会が取り組んでいる地域福祉ネットワークとかみ合

ふるさと納税のお礼の品に、八女の果物や野菜等をもっと活用しては

答 一部利用中だが、価格、品質、配送等難しく、検討中である



橋本正敏

問 普通交付税の合併に伴う特別措置が平成32年度になくなり、平成27年度交付基準額から試算すると約21億5千万円減額する。ふるさと納税を、これを補うシステムにしてはどうか。

答 この制度は、いつまで続く制度かわからず、予算編成もしにくい。交付税の減額は、行革等で取り組む必要がある。
問 ホームページの更新は、誰が行い、そのタイミングは。
答 ふるさと納税サイト、「ふるさとチョイス」と委託契約しており、年更新回数に限られている。来年度は、契約グレードを上げ、よりよい画面になるようにしたい。
問 更なる増収のための具体策は。
答 体制の改善と八女の個性を生かした産物を検討し、ふるさと納税額をふやしたい。
問 給茶器を前倒して早く全校に設置してはどうか。
答 昨年2校、今年度4校導入している。茶葉について、農協、茶業部会の寄附で運営されているので、一気には難しい。



小学校に設置されている給茶器

問 罰金刑以上（交通関係以外）の刑が確定すれば、検察庁より既決犯罪通知書が市に送付されてくる。それを元に犯罪人名簿を作成する。選挙権の有無や公務員、建築士等270の職種の欠格事項等を調べるため、日常的に利用されている。この名簿、法の位置づけが明確でないまま取り扱われているのでは。

答 明確な法的根拠がないというの認識しているが、欠格事項の審査等には必要。
問 八女市の犯罪人名簿取扱要綱等を定め、間違いないようにしなければならぬのでは。
答 全国の自治体の状況など研究する。
問 TPPの合意文書では、外国企業が地方自治体の入札に参入出来るように、交渉を行うことが



森茂生

犯罪人名簿の取り扱いは如何に

答 厳格な保護が必要。細心の注意を払っている



決められている。TPPに先行している4Pでは、665万円以上の物品購入の場合、外国企業に入札の参入が認められている。例え入札が無くて、英文での入札文書の作成など市の負担が増える。そこは検討したのか。
答 検討はしていない。

農地中間管理機構の現状と今後の考え方は

答 担い手への農地の集積と育成、耕作放棄地の防止を推進していく



栗原吉平



中山間部を守ることは、水を作ることです

- 問** 農地中間管理機構の市の今年度の状況は。
- 答** 実績として3回の貸付、出し手が20名、面積が15・86haで、経営転換協力を640万円交付している。
- 問** 中山間地域の農地は機構制度の利用は厳しい。どう進められるのか。
- 答** 借り手がない農地は基準に該当しないので、各集落で出し手・受け手を協議され優良農地は担い手に移行を願いたい。話し合いに要する事務経費等に補助を考えている。
- 問** 農地保有適格法人について、要件緩和で荒廃農地が増えないか心配。
- 答** 毎年度報告の義務があり、要件を満たさない恐れのある法人については農業委員会から勧告する権利があるので農業参入には十分サポートする。
- 問** 改正農業委員会法はどう変わるのか。
- 答** 農業委員の選出方法公選制と市長選任制から推薦、公募を踏まえ市長が議会の同意を得て任命。また農地利用を推進する農地利用最適化推進委員を新設。
- 問** 地理的表示保護制度の活用と指導について。
- 答** 八女伝統本玉露は、再生産性のある価格帯に引き上げることが目標でGマークを活用、消費拡大とブランド化を持続的に取り組んでいきたい。



樋口 安癸次

- 問** 下柳瀬の道路は、どうなっているのか。
- 答** すでに測量設計が終了しており、現在、用地相談中、終われば工事着手と考えている。
- 問** 宮野の道路整備は、どうなっているのか。
- 答** 三河27号線については、用地交渉に入っており、用地交渉がすんだら工事に着手する。三河30号線については、地元と調整中である。
- 問** 白木と和水町間のトンネルはどうなっているのか。
- 答** 和水町と八女市で期成会をつくっているが、両方の期成会で看板を設置する。予算は40万円ずつを設置に充てる計画である。
- 問** 三河小学校のグラウンドの暗きょ整備は、どうなっているのか。
- 答** 現在、調査測量の設計業務を委託している。具体的な工事費関係が10月末には積算が終わるので、それを受けて、来年度の予算要求に向けて精力的に取り組む。



市道三河 56 号線

答 酒井田の道路拡幅はどうなっているのか
市道三河56号線はすでに事業化している

伝統的建造物地区の今後の取組みと対策について

答 伝統的な町並の保存と活用を進め積極的に取り組みたい



石橋 義博



旧木下家住宅

問 今後、伝建地区をどのように展開させていくのか。

答 現在、横町町家交流館と旧木下家住宅のリニューアルを検討中で企画担当者が頑張つて地元の方々の生き生きとした暮しや八女の魅力が来訪した方々に伝わるように取り組んでいく。

問 地区の排水事情が大変悪いが対策を考えられているのか。

答 地元区長からも対策要望がなされており関係各課で検討している。

問 ふるさと支援金の現状と対策について。

答 現状は昨年度より500件以上増え金額にして600万円以上増額している。

問 他市では10億、20億と劇的に伸びているところもあるが。

答 品数と品種の違いもあるが現在、協議を重ね品数増と増額に向けて検討中である。

問 対応に向けてスタッフ増をしては。

答 限られた人数の中でやっております。今後とも与えられた人数で頑張っていく。

問 少子・高齢化と人口減少は加速度的に進み、集落の維持すらままならない現状の中で、地域の近隣住民が主体となって結成した自治組織が孤立しがちな高齢者への声かけや見守り、買い物支援等を行っている。人と人との交流の密度を濃いものとし、地域の皆さんの総働力を生かし、地域活性化の中心を担う小規模多機能自治の組織づくりを行うことで、地域共助を拡大していく必要があるのではないか。

答 自分たちの足と、目と耳で地域をもう一度見直し議論を巻き起す。



三角 真弓

住民同士が支え合うネットワークを築き地域の暮らしを守る施策を

答

行政と市民が責任や役割を明確にしながら連携していく



八女市 中山間地域

問 市民のための行政の組織づくり、人材づくりをどのように考えるか。

答 職員一人ひとりが全体の奉仕者としての自覚と意欲で職務に取り組む。

問 管理職が一切の責任を担っていくとの姿勢で職員のやる気を出させ職

答 場的雰囲気を変えていく。トップと現場との問題意識、情報のギャップを埋める事も重要である。管理職間での色々な議論の中で、市民のための機構づくり、人的配置もできるのではないかと。

答 的確な判断をやる。

山口県 美祿市・萩市を調査

平成28年8月9日～10日

定数等調査特別委員会調査報告

議員定数はどうあるべきか

議員定数等調査特別委員会は、8月9日と10日に山口県美祿市と萩市を調査した。

美祿市は、平成20年3月に3町が対等合併し、発足した市で、人口約2万6千人と人口こそ少ないが、面積は八女市と同じくらい有する。

平成20年8月に議長が「議員の定数並びに報酬に関する件について」を議会運営委員会に諮問し、平成24年4月の選挙から定数を19人とした。

平成26年7月、「議会改革推進特別委員会」が設置され、平成27年3月議会で定数16人を可決し、平成28年4月の選挙から実施。

この間、山口県全市と類似自治体の財政規模・面積・産業形態・議員定数などを参考に比較検討され、議会報告会で、参加された住民に意見を求め参考に

し、議論・検討され定数が決められている。

翌日には萩市を訪れた。萩市は、平成17年3月に1市2町4村が合併し、在任特例で94人の議会で発足。翌年4月の選挙で30人に削減。平成22年選挙では26人に削減。平成26年6月に議会改革を実施するため「議会構成分科会と議会運営分科会」の2つからなる議会の構成・運営に関する研究会」を設置し協議が重ねられ、平成27年9月に定数20人に決定された。

萩市は人口約5万1千人、面積は約700km²と八女市と比較しても広大な広さと離島も有する市である。

萩市の議会だよりに「工

イヤツと決めなければ決まりませんよ」と書かれていたが、議会基本条例がない萩市は、正にそんな感じのする決め方で、研修終了

後、今後の議会運営を心配する職員の言葉も聞かれた。

八女市の議員定数については、昨年の6月から12回の委員会を開催している。

今後もしっかりと議論を重ね、来年3月までに市民に説明責任を果たせる形で答えを出さなければと強く感じさせられる調査であった。



研修の様子

適切に支出しています！

政務活動費

八女市議会には議員に政務活動費を支給する制度があります。一人月額1万円。議員26人分で312万円が予算化されています。



八女市議会の政務活動費は、研修会や先進地の調査など、議員活動に活用しています。ただし、政務活動費を支出する前に議会事務局で内容を確認し、その領収証の提出後に支払われます。八女市議会は今後も、適切な使途に努めてまいります。

議会報告会を開催します

この議会報告会は、市民のみなさんと議員が自由に情報や意見を交換することで、議会の活動状況や結果を知ってもらうとともに、議会活動等に対するご意見、提言により議会活動を活性化させ、今後のよりよいまちづくりに活かしていくため開催するものです。

どなたでも参加できますので、ご都合のよい会場へお気軽にお越しください。

地区名		月日	開始時間	会場	担当
立花	光友	11月11日(金)	19:00	立花市民センター イベントホール	3班
	辺春				
	北山				
	白木				
旧八女西部	福島	11月12日(土)	19:00	おりなす八女 はちひめホール	1班
	三河				
	八幡山				
旧八女東部	長峰	11月15日(火)	19:00	おりなす八女 はちひめホール	2班
	上妻				
	川崎見				
上陽	上陽	11月15日(火)	19:00	上陽公民館	3班
矢部	矢部	11月16日(水)	19:00	矢部公民館	2班
星野	星野	11月17日(木)	19:00	星野支所 大集会室	1班
黒木	黒木	11月18日(金)	19:00	黒木支所 大会議室	3班
	豊岡				
	串毛				
	木屋				
	笠原淵				

班名簿

1班	2班	3班
◎樋口 良夫(厚生)	◎松崎 辰義(建設経済)	◎井本 政弘(厚生)
○高橋 信広(厚生)	○服部 良一(総務文教)	○田中 栄一(厚生)
樋口安癸次(建設経済)	吉田 達志(建設経済)	井上 賢治(総務文教)
森 茂生(総務文教)	中島 信二(総務文教)	栗山 徹雄(建設経済)
三角 真弓(厚生)	角田 恵一(厚生)	中島 富定(建設経済)
栗原 吉平(総務文教)	萩尾 洋(厚生)	寺尾 高良(総務文教)
牛島 孝之(総務文教)	伊井 渡(厚生)	大坪久美子(総務文教)
石橋 義博(建設経済)	橋本 正敏(建設経済)	小川 栄一(厚生)
堤 康幸(建設経済)		

◎：班長 ○：副班長 カッコ内は常任委員会を記載

9月定例会で審議した議案の賛否

○賛成 ●反対 欠 欠席 ーは議長職のため採決には加わりません

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	
	大坪久美子	橋本正敏	田中栄一	堤康幸	高橋信広	小川栄一	石橋義博	伊井渡	牛島孝之	萩尾洋	角田恵一	服部良一	中島信二	吉田達志	寺尾高良	栗原吉平	樋口良夫	三角真弓	井本政弘	中島富定	森茂生	栗山徹雄	井上賢治	松崎辰義	樋口安次	川口誠二	
報告第9号																											
報告第10号																											
報告第11号																											
報告第12号																											
報告第13号																											
報告第14号																											
報告第15号																											
報告第16号																											
	報告事項のため、採決はありません																										
議案第66号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	ー	
議案第67号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	ー	
議案第68号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	ー	
議案第69号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	ー	
議案第70号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	ー	
議案第71号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	ー	
議案第72号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	ー	
議案第73号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	ー	
議案第74号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	ー	
議案第75号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	ー	
認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	ー
認定第2号	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー

9月定例会で審議した議案の結果

報告第 9号 専決処分について(事故による損害賠償)	報告
報告第10号 専決処分について(事故による損害賠償)	報告
報告第11号 株式会社クリエイトやべの平成27年度決算及び平成28年度事業の計画の報告について	報告
報告第12号 一般財団法人星のふるさとの平成27年度決算及び平成28年度事業の計画の報告について	報告
報告第13号 一般財団法人秘境柚の里の平成27年度決算及び平成28年度事業の計画の報告について	報告
報告第14号 一般財団法人FM八女の平成27年度決算及び平成28年度事業の計画の報告について	報告
報告第15号 平成27年度八女市一般会計予算継続費精算の報告について	報告
報告第16号 平成27年度八女市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報告
議案第66号 八女市ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第67号 八女市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第68号 八女市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第69号 市道路線の変更について議案第70号平成27年度八女市水道事業会計決算剰余金の処分について	可決
議案第70号 平成27年度八女市水道事業会計決算剰余金の処分について	可決
議案第71号 平成28年度八女市一般会計補正予算(第3号)	可決
議案第72号 平成28年度八女市国民健康保険事業費特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第73号 平成28年度八女市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第74号 平成28年度八女市介護保険事業費特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第75号 平成28年度八女市矢部診療所特別会計補正予算(第1号)	可決
認定第 1号 平成27年度八女市各会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第 2号 平成27年度八女市水道事業会計決算認定について	認定
人権擁護委員候補者の推薦について	適任と認める

インターネットで議会中継

八女市議会

検索

インターネットから議会の様子を生中継でご覧になれます。録画中継も生中継終了後3日程度(土・日及び祝祭日を除く)で見ることができます。会議名や議員名、用語でも検索できますので、ぜひご覧ください。

<http://www.city.yame.fukuoka.jp/>



議会を傍聴してみませんか?

市政の動向を知るには、議会を傍聴するのが一番です。議員と市執行部とのやりとりを直接ご覧になってみてはいかがでしょうか。事前予約はいりません。どなたでも傍聴できますので、ぜひお越しください。

日程など、詳しいことは議会事務局へお問い合わせください。

TEL 0943-23-4922

FAX 0943-23-4929

E-mail yame_city_gikai@city.yame.lg.jp

こんなことは、「公職選挙法違反」です!

～贈らない!求めない!受け取らない!～

葬儀の花輪、供花落成式、開店祝の花輪	当選のお礼	町内会の集会や旅行などの催物への寸志や飲食の差入	秘書等が代理で出席する場合の結婚祝葬儀の香典	入学祝・卒業祝
病氣見舞い	お祭りへの寄附や差入	暑中見舞い年賀状	地域の運動会やスポーツ大会への飲食等の差入	お中元・お歳暮

次回定例会 11月30日(水)予定 立花庁舎議場 午前10時

いよいよ、次は4年後の東京オリンピック・パラリンピックです。世界中から多くの方が日本を訪れることでしょうか。街づくりについても、世界に誇れるようなバリアフリー化を期待します。

委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議長	発行責任者
橋本	高橋	伊井	服部	中島	大坪	松崎	堤	田中	栄一	川口	誠二
正敏	信広	井渡	部良	島信	坪久美	崎辰義	康幸	中栄一			

編集後記

この編集後記を書いてい
る今、リオのパラリンピッ
クが終わったばかりであり
ます。真剣勝負が生み出
す感動は、健常者も障が
い者も変わりません。リオ
のパラリンピックをテレビ
で観戦しながら、改めて痛
感させられました。出場
された全ての選手の方々の
健闘を讃えたいと思いま
す。出場に至るまでの血の
にじむような努力。その努
力を重ねる中で、可能性
が大きく広がったことを身
をもって教えていただきま
した。

まず、私たち一人ひとりの
心のバリアフリー化が最も
大事なのではないでしょうか。
車いすの方が、駅での乗
り降りの時など、周りの人
がちよっと手伝うだけで願
いは叶えられます。
この4年間で「心のバリ
アフリー化」も世界水準に
近づきたいものです。

大坪 久美子

